

令和7年9月12日

徳島県「脱炭素社会推進普及啓発業務」の受託について
～「脱炭素経営」に取り組む事業者を募集します～

トモニホールディングスグループの株式会社徳島大正銀行の100%子会社である、とくぎんとモニリンクアップ株式会社は、業務提携先の株式会社 Sustech(東京都港区、代表取締役:丹野 裕介/飯田 祐一郎)、宮地電機株式会社(高知県高知市、代表取締役:宮地 貴嗣)とともに徳島県から「脱炭素社会推進普及啓発業務」を受託しましたのでお知らせいたします。

本業務では徳島県内の中小企業を対象に、脱炭素経営を支援する「脱炭素経営伴走支援」を実施します。「CO₂排出量の可視化」「省エネ診断」「排出量削減計画の策定」等の支援を無料で提供し、徳島県内の中小企業の脱炭素経営を後押しいたします。

脱炭素経営に積極的に取り組みたい事業者の皆さまは、ぜひご応募ください。



記

1. 脱炭素社会推進普及啓発業務について

委 託 者	徳島県
受 託 者	とくぎんとモニリンクアップ Sustech 宮地電機共同企業体
業 務 内 容	①県内イベントへのブース出展等 ・徳島県内で実施されるイベントにブース出展し、デコ活(※)の認知度向上等を実施 ②脱炭素経営伴走支援(今回対象企業の募集を開始) ・中小企業の脱炭素経営の伴走支援を実施 ③成果報告会 ・本事業の成果報告およびデコ活、脱炭素経営の普及啓発セミナーを実施

2. 脱炭素経営伴走支援(上記②)対象企業の募集について

募 集 対 象 者	徳島県内に本社がある中小企業
定 員	3社
募 集 期 限	令和7年9月30日(火)
実 施 期 間	令和7年10月～令和8年3月

※デコ活とは、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉。環境省では、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動「デコ活」を展開中。

脱炭素経営伴走支援の詳細の確認や申込等は次ページ以降のチラシをご参照ください。

以上

脱炭素経営伴走支援事業 脱炭素経営に取り組む事業者を募集！

CO₂排出量削減とエネルギーコスト削減を実現する脱炭素経営を伴走支援します

対象者

徳島県内に本社がある中小企業

定員

3社

募集期限

令和7年9月30日（火）まで

伴走支援期間

令和7年10月 ～ 令和8年3月

- 応募者数が定員数を超えた場合は、書類選考等を実施し、伴走支援対象企業を決定いたします
- 伴走支援対象企業には2026年3月に実施予定のセミナー兼成果報告会で支援内容を受けた結果や取組等を発表していただきます

こんなお悩みにアプローチ！

- ✓ 脱炭素経営、何から始めたら良いかわからない
- ✓ 自社のCO₂排出量を削減したい
- ✓ エネルギー効率を改善させて、コストを削減したい



申込はこちら



脱炭素経営伴走支援メニュー

脱炭素経営の現状確認

- ・脱炭素経営に関する50問程度の質問に回答
- ・回答結果より脱炭素経営の現状を分析し、今後の方針等を定める

CO₂の可視化

- ・自社のCO₂排出量を可視化するためのツールを導入
- ・伴走支援期間中と過去3ヵ年分のCO₂排出量を算定

省エネ診断

- ・事業所へ訪問し、エネルギー使用状況や各種設備の運用状況等を調査
- ・設備投資や運用改善の省エネ施策を提案

CO₂排出量削減計画策定支援

- ・「脱炭素経営の現状確認」「省エネ診断」等から脱炭素経営に向けた施策の優先順位付け、CO₂排出量削減のロードマップ等を策定

社内報告会

- ・CO₂排出量削減計画等を用いて、役職員向けに報告会を実施
- ・今後の脱炭素経営に向けた方針や施策を社内全体で共有

伴走支援スケジュール

※スケジュールは状況により変更となることがあります

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脱炭素経営の現状確認						
CO ₂ の可視化						
省エネ診断						
温室効果ガスの排出削減 計画策定支援						
社内報告会					○	
成果報告会での発表						○